

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会	主 査 名：川本重雄 就任年月：2007 年 3 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：谷直樹 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本建築史研究成果の情報交換</li> <li>・日本建築史研究の活性化</li> <li>・日本建築様式史の再構築を目指した研究会・シンポジウムの開催</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	川本重雄(京都女子大学)・藤井恵介(東京大学)・羽深久(札幌市立大学)・高橋恒夫(東北工業大学)・吉田純一(福井工業大学)・大和智(文化庁)・麓和善(名古屋工業大学)・波多野純(日本工業大学)・谷直樹(大阪市立大学)・村田健一(文化庁)・光井渉(東京芸術大学)・大野敏(横浜国立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	0 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 日本建築様式史の再構築 5 「歴史的町並みの近代化と建築史」 <div style="text-align: right;">参加者数 60 名</div> 2. 日本建築様式史の再構築 6 「寝殿造と書院造の間～建築史学と考古学の接点を求めて～」 <div style="text-align: right;">参加者数 名</div> 「寝殿造と書院造の間～建築史学と考古学の接点を求めて～」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初計画した 2 回の研究会・シンポジウムは予定通り開催できた。 2. 2 回の研究会・シンポジウムはいずれも盛会で、研究交流の場として有意義であったと考える。
委員会活動の問題点・課題	1. 研究会・シンポジウムの参加者が開催場所によって制限される。報告書を刊行することで情報を広めていくようにしたい。 2. 委員が全国各地にいるため、旅費の関係で全体の委員会が開きにくい。今後委員構成を考慮すべきである。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。